

青塚古墳

あおつか こふん

犬山市楽田地区の青塚古墳は、4世紀中頃の全長123メートルの前方後円墳で、小牧・長久手の戦いでは秀吉の砦として使われた歴史ある史跡です。

犬山市字青塚22-3



ココ

2 県下で
番目の
大きさ

犬山市を代表する古代ロマン 「青塚古墳」とは



青塚古墳は楽田地区にある大縣神社の御祭神「大荒田命」の噴石と伝えられている。「青塚」「茶臼山」「王塚」など様々な呼称のある古墳で、犬山市の地名にもなっている。古墳の西側には木曾川によって作られたとされる平野が広がっており、古墳の周りからは遺構や遺物が出土して、古代からこの地に人の営みがあった。

古墳の規模は墳長123メートル、後円部径78メートル、後円部の高さは12メートル、前方部長45メートル、前方部幅62メートル、前方部高さ7メートルの前方後円墳で、周囲の自然地形を利用したやや不定形の周濠を有している。古墳の規模感は県下で2番目の大きさで、現代にも残る精美な形態は全国でも珍しい。昭和54年に青塚古墳一帯がほ場整備事業の対象となったが、当時の犬山市教育委員会と地元住民が中心となり小規模ながら発掘調査が行われ、市の指定遺跡から国の史跡指定に認定された経緯がある。

その後、平成8年に文化庁の「史跡等活用特別事業」にも採択され、地元住民を中心とした遺跡の復元が行われ、現在は公園として活用されている。

大縣神社の所管として管理されていることもあり、公園内ではさまざまな行事が行われたり、市民の散歩コースや古代ロマンを求めるファン憩いの場所となっている。

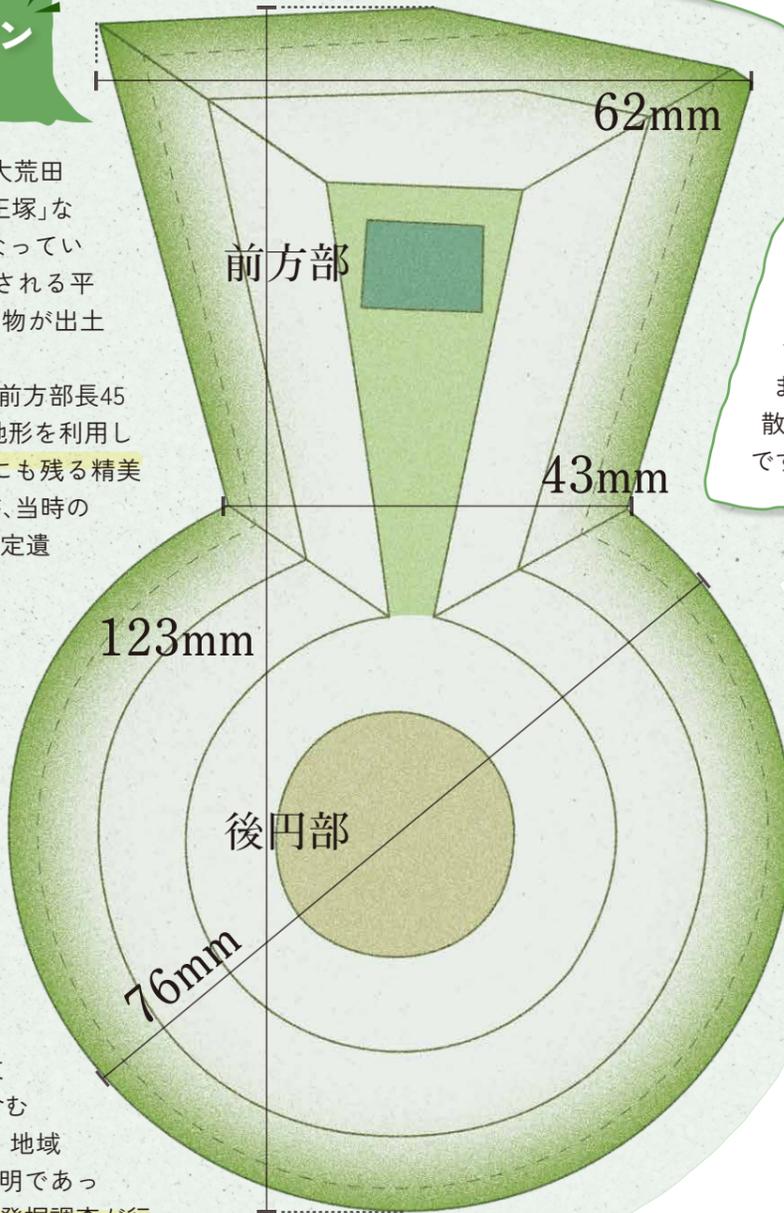
地域の声で
発掘調査
スタート

発掘調査から 国史跡指定に至るまで



青塚古墳は昭和41年(1966年)に犬山市の市指定文化財になりました。昭和54年(1979年)に古墳を含む周辺一帯にはほ場整備事業が計画されましたが、地域の「古墳の保存を」という要望に同年それまで不明であった古墳の範囲確認と保存を目的とした最小限の発掘調査が行

われ、調査の結果歴史的にも学術的にも価値が高い事が判明。昭和58年(1983年)に国の史跡として指定されました。



4つの魅力を
ご紹介

「青塚古墳」のココがすごい! 人が集う魅力を発見!

No. 1

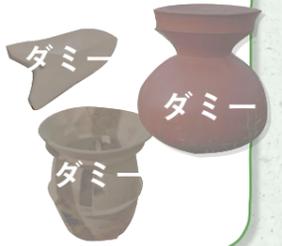
壮大なスケールの 前方後円墳

全長123メートル、後円部の高さ12メートルを誇る青塚古墳は、愛知県内で2番目の規模を誇る壮大な史跡です。その迫力ある姿を目の当たりにすれば、古代の偉大さに圧倒されることでしょう。

No. 2

出土品が語る古代の暮らし

土器や石器などが出土し、古代人の生活や文化を物語ります。地元の資料館で展示を見ればさらに興味が深まります。



No. 3

自然と調和した癒しの公園

木曾川のほとりに位置し、豊かな自然に囲まれた公園として整備。散策やピクニックに最適です。



No. 4

歴史の 舞台を歩く 体験

地元住民と行政による保存活動の結果、復元された古墳はイベント会場や憩いの場として親しまれています。

Let's go out.

青塚古墳をいっしょに整備しませんか?

可能であれば市民活動団体の一つ「ニワリネット」さんの活動紹介と実際に定期的に行われている整備活動取材して記事にする。一つの市民活動団体の紹介に留まらず、地元の人の手で整備されていることを紹介することで広く知ってもらうきっかけになる。



夏休みに行きたい参加行事もたくさん!

- 1
- 2
- 3
- 4



連絡先 0000-00-0000

営業時間 午前9時から午後5時まで

